

次田眞幸 しんこう 國文學者。明治四十一年十月十二日東京小石川生れ、
 昭和五十八年十一月十五日没（一九一九—一九八三）。國文學者次田澗しんけんの長男。
 水戸高等學校を經て、昭和八年東京帝國大學文學部國文學科卒。大學
 に進み上代國文學専攻。第四高等學校教授、第二高等學校教授、次で十
 八年東京女子高等師範學校教授、二十八年お茶の水女子大學教授とな
 り、定年後幾徳工業大學教授。妻万喜は神道學者田中義龍の四女。著
 書に、『萬葉集評註』（昭和十七年刊）、『日本神話の構以』（昭和四
 十八年刊）等。

『見つゝ思げむ』次田眞幸追憶と遺稿』（昭和五十九年十一月十五日
 次田万貴子編輯）がある。

